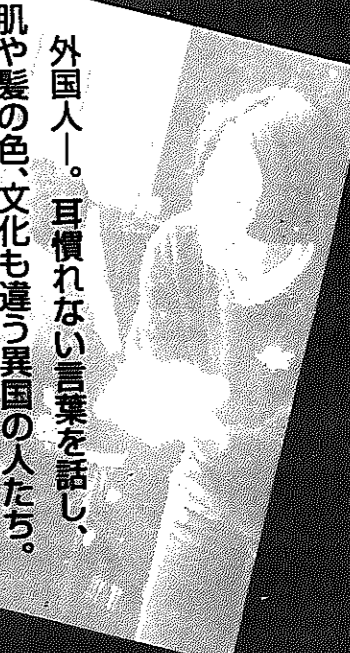
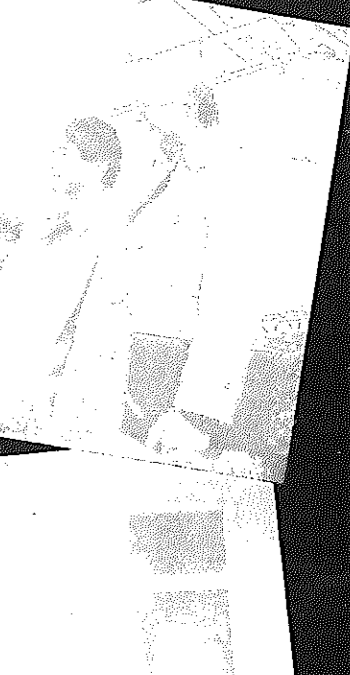


特集／白根の国際化

言葉の壁の向こう側へ



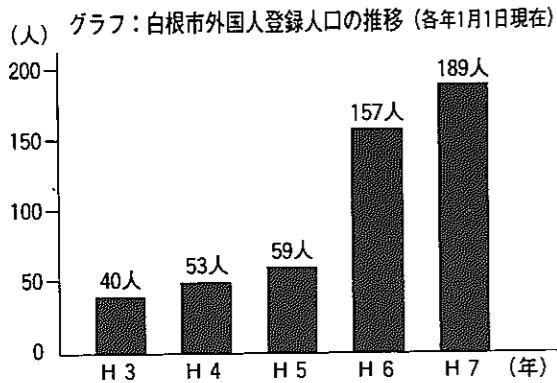
外国人―。耳慣れない言葉を話し、肌や髪の色、文化も違う異国の人たち。大都市でも何でもないこの白根の地でも、彼らの姿を日常的に見掛けるようになりました。ここ数年で市の外国人人口は約四倍に増加。私たちが彼らと接する機会も多くなっています。

私たちが彼らの中には、言葉の違いという大きな壁があります。現実にごみの出し方が分からない外国人と住民との摩擦なども起きています。同じ地球人としてうまく共生していくには何が大切なのでしょう。

今後、白根市でも間違いなく国際化が進みます。壁を超え、積極的に国際交流を進める人たちの姿を通して、私たちと外国人のこれからの在り方を考えてみましょう。

増える外国人 住民との摩擦も

白根市の外国人登録人口は、ここ数年で急増。今年一月で百八十九人と、四年前と比べて約四倍にもなりました(グラフ)。このうちブラジル人が百四十一人と圧倒的に多く、続いて韓国、朝鮮人、中国人、ニュージーランド人と続いています。入国の目的は観光、留学、就労などさまざま。白根市に来る外国人の多くは就労が目的で、働くために、ある期間滞在します。その間は一人の市民として地域で暮らさなければなりません。けれども言葉や生活習慣の違う土地で生活するわけですから、誤解やトラブルも生じやすくなります。



ある日、広報係に一通の手紙が寄せられました。その内容は「早朝、ごみを出しに行くとき外国人に会う。彼らのごみの内容を見ると缶、瓶、一般のごみというように区別していない。注意したが話を通じるときと通じないときがあつて困っている」というものでした。トラブルの原因は、まず何と云つても言葉の違い。お互いの言葉を理解できないことにもあります。英語にたけた人ならまだしも、そうでない人が思っていることを正確に伝えるのはなかなか難しいこと。相手に英語が通じない場合もあります。情報を相手に正確に伝えるという点では言葉は大切です。

このような言葉の違いからくるトラブルは、多くの民族が暮らす外国でも深刻化しています。今、私たち日本人も外国人と同じ土地で暮らす時代を迎えました。一緒に生活する者同士、少しでも誤解やトラブルを減らそうと思えば、何らかの形で意志の疎通を図る努力をしなければなりません。言葉が通じない、通じにくい相手にも接していかなければならないのです。

真の国際感覚って何だろっ?

今、外国人の不法就労、不法残留が大きな社会問題となっています。日本の法律を守らない外国人が多数摘発されています。これらの行為は絶対に

許されないことで、私たちも厳しい態度で臨まなければなりません。もちろんほんの一部の人にしかすぎないのですが、それが外国人に対する悪いイメージをつくっているのは事実です。加えて日本人は外国人との接触に慣れていません。これには島国としての長い歴史が背景にあります。これは世界でも珍しいことで、ほとんどの国ではさまざまな国の人が一緒に暮らしている、外国人に対して日本人ほど特別視したり力んだりすることはないようです。

第二次世界大戦前の日本では、大和民族の優秀性と単一性が叫ばれていて、それがアイヌの人たちや近隣アジア諸国とさまざまな問題を引き起こしました。そして戦後、欧米特にアメリカの文化が流入し、日本人もそれを好んで受け入れてきました。今でも、アジア人を蔑視したり、欧米人に対してコンプレックスを持ったりする人がいるのではないのでしょうか。これからの国際化社会において、そのような意識はさまざまな障壁になってきます。

近ごろ、市内で行われるイベントなどでは外国人と日本人が談笑する姿が見られます。言葉が通じなくても、そこには確かな意志の疎通があります。彼らは外国人に対して特別な色眼鏡を持ちません。単に「同じ地球人」という意識があるだけです。外国語を流ちょうに話せても、外国の産物をふんだんに消費しても国際化とは言えません。相手を尊重する気持ち、生活習慣や文化の違いを理解して

いく気持ちこそ真の国際感覚であり、それを身に着けることが国際化への第一歩です。

異文化を理解していくには

農村都市の白根市では地域意識が少なからず残っています。外国人であろうと日本人であろうと、他のまちから入ってくると特別な目で見られがち。人の出入りの激しい大都市に比べれば拒絶反応が顕著で、摩擦を引き起こしやすい状況にあります。もちろん仲間同士で助け合おうという気持ちがある、働くため良い面もたくさんありますが、もう一歩進んで「理解してあげよう」という姿勢がなければ、ただの閉鎖社会になっていきます。交流による発展は望めません。

知らない人を理解するまでには確かに時間がかかります。人間は自己防衛本能でいったんは相手を疑ってしまうからです。でもそこは同じ人間。ふたを開ければなんら変わりはありません。だれでもいろんな出会いの中で、「あいつは思ったよりいいやつだった」と感じたことがあるはず。

今後、白根市でも確実に国際化が進みます。外国人と接する機会も増えていくでしょう。次のページから積極的に外国人との交流を進める人たちを紹介しました。言葉の壁を超えた人間同士の触れ合いを感じてみてください。